

期待の若手ソリスト達と大阪交響楽団 in 泉の森

高木 竜馬

ピアノ

佐藤 晴真

チェロ

松岡 井菜

ヴァイオリン

Ryoma Takagi



Haruma Sato



Seina Matsuoka



ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 Op. 26 (ヴァイオリン・松岡井菜)  
Bruch : Violin Concerto No. 1 in G Minor, Op. 26

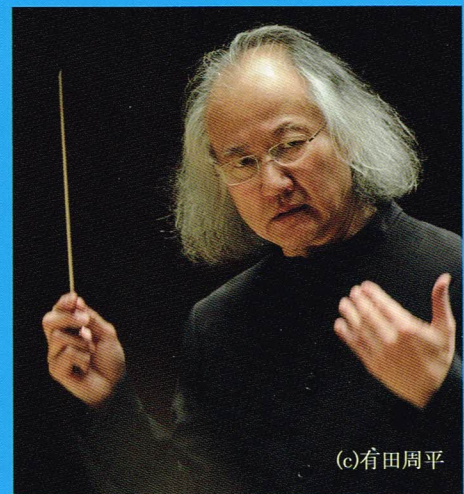
ハイドン：チェロ協奏曲第1番 ハ長調 Hob.VIIb:1 (チェロ・佐藤晴真)  
Haydn : Cello Concerto No. 1 in C Major, Hob.VIIb:1

グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 Op. 16 (ピアノ・高木竜馬)  
Grieg : Piano Concerto in A Minor, Op. 16



管弦楽／大阪交響楽団

(c)飯島隆



(c)有田周平

指揮／矢崎 彦太郎

2022. 11/20 (日) 15:00開演 泉佐野市立文化会館  
(14:30開場) (エブノ泉の森ホール) 大ホール

【全席指定】一般 2,000円／ホール友の会・izuMeetS 1,500円／高校生以下 500円

チケット  
取り扱い

エブノ泉の森ホール TEL 072-469-7100

ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード：55687)

※6歳未満の方の入場はご遠慮願います。

主催：一般財団法人 泉佐野市文化振興財団 TEL.072-469-7101

ARTS 2  
ARTS for the future! 2

文化庁「ARTS for the future! 2」  
補助対象事業



## 松岡 井菜 Seina Matsuoka <ヴァイオリン>

相愛大学音楽学部 特別演奏コース及び同大学音楽専攻科を経て、2017年に渡欧、現在はウィーン国立音楽大学に在籍している。第17回松方ホール音楽賞。第23回ABC新人コンサート最優秀音楽賞。第5回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第2位。2018年度第28回青山音楽賞新人賞。2019年エリザベート王妃国際コンクールセミファイナリスト。

今年2022年は、Giulio Rospigliosi International Chamber Competition第1位（イタリア）、第8回仙台国際コンクール審査員奨励賞、第1回International Music Competitions VŠMU第一位及び委嘱作品賞（スロバキア）、第10回フリッツ・クライスラー国際コンクール特別賞（オーストリア）を受賞。

これまでに関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。ウィーン楽友協会 Gläserner Saalをはじめ、イタリアやスロヴェニアの音楽祭のコンサートに出演するなど欧州でも活躍の場を広げている。2013-2016年度公益財団法人青山財団音楽奨学生。ロータリークラブ RI 2680地区奨学生。これまでにヴァイオリンを小栗まち絵氏、Michael Frischenschlager氏、Peter Schuhmayer氏に、室内楽をStefan Mendl氏、Johannes Meissl氏に師事。

## 佐藤 晴真 Haruma Sato <チェロ>

実力・人気を兼ね備えた若い世代を代表するチェリスト。2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞など多数の受賞歴を誇る。

すでに国内外の主要オーケストラと共演を重ねており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。18年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。

20年11月には、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses〜ブラームス作品集〜』をリリースし、第13回CDショップ大賞2021クラシック賞を受賞。21年11月には、セカンド・アルバム『SOUVENIR〜ドビュッシー&フランク作品集』をリリース。

現在、ベルリン在住。20年、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰。本年、第32回日本製鉄音楽賞受賞。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE. ロッカ1903年。

## 高木 竜馬 Ryoma Takagi <ピアノ>

2018年9月に第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて、優勝及び聴衆賞を受賞し、一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど、7つの国際コンクールで優勝。

その後、小林研一郎氏、尾高忠明氏の指揮により3回に亘って東京フィルハーモニー交響楽団と共演した他、オスロフィルハーモニー管弦楽団との共演、ウィーン楽友協会やエルプフィルハーモニー等でのリサイタルなど、日本とウィーンを拠点に多方面で活躍。

NHK総合テレビ『ピアノの森』では、雨宮修平メインピアニスト役で出演し、大好評を博す。その他にもTV『題名のない音楽会』TV『ららら♪クラシック』等々、メディアへの出演多数。

故エレナ・アシュケナージ、故中村絃子、ミハヤエル・クリスト、ボリス・ペトルシャンスキー、アンナ・マリコヴァの各氏に師事。（公財）江副記念リクルート財団 第35回奨学生。

## 矢崎 彦太郎 Hikotaro Yazaki <指揮>

1947年東京生まれ。4才よりピアノを始め、上智大学数学科に学んだ後、同大学から東京芸術大学指揮科に再入学、金子登、渡邊暁雄、山田一雄各氏に指揮法を学んだ。

日本フィル指揮研究員として小澤征爾の助手を務めた後、東京ユース・シンフォニー・オーケストラのスイス演奏旅行に同行、公演後ヨーロッパ各地を移り住みながら、スワロフスキー、チェリビダッケなどに師事。

ブザンソン国際指揮者コンクールなどに入賞を果たし、1975年ボーンマス交響楽団皮切りに本格的に指揮活動を開始、BBC響などに招かれる。1979年よりパリに拠点を移す一方、同年には東京交響楽団定期を指揮し日本にも本格的なデビューを果たす。また、ダニエル・ルシュール作曲「オンディーヌ」の世界初演でオペラにも活動の場を広げて以来、ボルドー歌劇場、二期会、関西二期会にも招かれている。

これまでに、東京交響楽団指揮者、旧西ドイツホフ交響楽団(西独)音楽監督・首席指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者、バンコク交響楽団音楽監督・首席指揮者、ジャカルタのヌサンタラ交響楽団音楽監督などを歴任。現在は、2010年よりバンコク・シルパコン・サマー・ミュージック・スクール・ミュージック・アドバイザー、2015年よりバンコク・プロムジカ・オーケストラ客演指揮者を務めている。2000年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを、2008年には同オフィシエ勲章を受勲。2002年エクスンモービル音楽賞奨励賞を受賞。パリ在住。

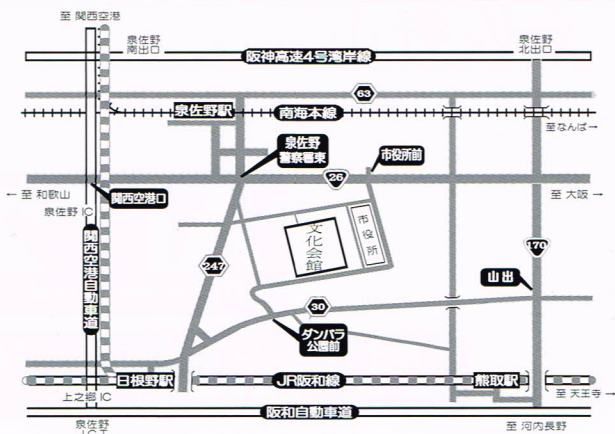
## 大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO（当時）樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。

楽団公式ホームページ (<https://sym.jp>) (2022年4月現在)



### 泉佐野市立文化会館（エブノ泉の森ホール）

- 南海泉佐野駅より泉の森ホールへは、徒歩約20分、または「大阪体育大学前」行バス（①のりば）で2つ目停留所の市役所前下車。タクシーご利用の場合約5分。
- JR熊取駅より泉の森ホールへは、「泉佐野駅前-ダンバラ公園経由」行バス（③のりば）で5つ目停留所の市役所前下車。タクシーご利用の場合約5分。
- 駐車場300台（催しにより満車の場合があります）

〒598-0005 大阪府泉佐野市市場東1-2-1

TEL.072-469-7101

<http://www.cf-izumisano.or.jp/izuminomori>